

創刊号

きずな

平成25年
4月1日発行

出会う ふれあい 語り合い
「幸せ」生まれる地域の絆

岡田小学校区
地区社会福祉協議会

あなたの地区社協が発足しました !!!

岡田小学校区地区社会福祉協議会 3月2日に設立大会

昨年11月から4回の勉強会、2回の設立準備会など、準備を進めていた岡田小学校区地区社会福祉協議会(略称:岡田小地区社協)が発立大会を終え、発足しました。

設立大会は、鈴木朗会長の挨拶及び経過報告、来賓の池邊市長、柳井市議会議長のご挨拶のあと、2月の第2回設立準備会で決定されていた規約、役員及び監事、事業計画および予算についての報告を確認して設立大会を終えました。



設立大会の後、各行政区から選出された運営委員が①住民交流 ②支援活動 ③調査広報の3部会に分かれて、今後の活動計画など話し合いました(市役所第3会議室で)。

1. 地区社会福祉協議会(地区社協)はなぜ必要か

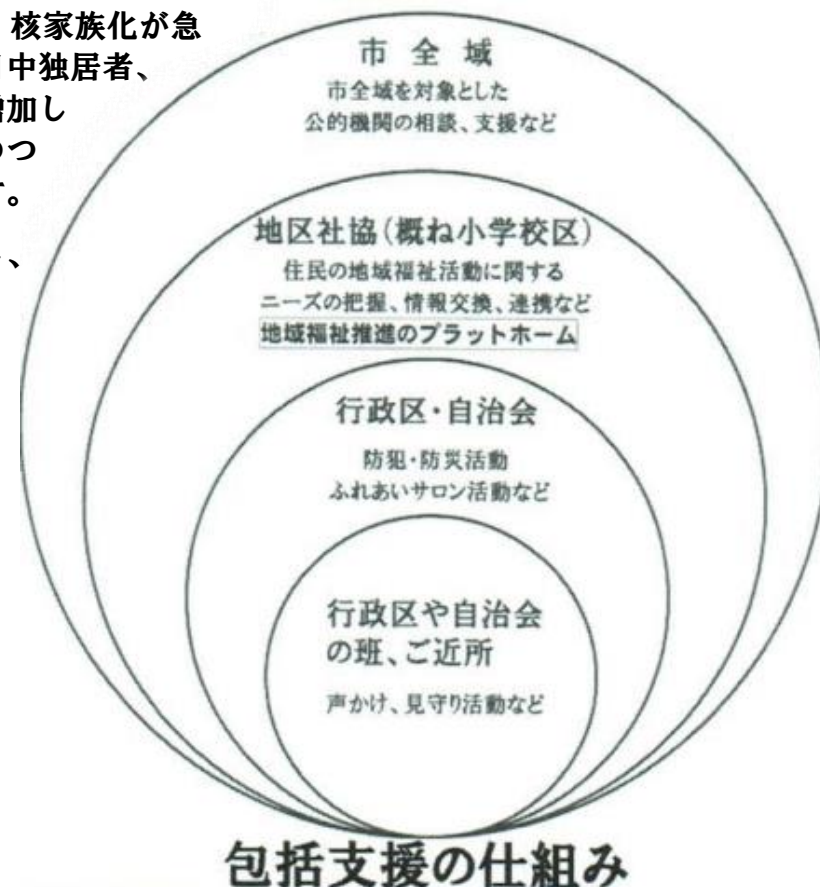
現在の社会は、少子超高齢化社会・核家族化が急速に進行し、一人暮らしの高齢者、日中独居者、認知症患者など見守りが必要な人が増加しています。一方で近所付き合いや地域のつながりの希薄化という課題があります。

こうした要援護者の増加などに対し、行政の力だけではきめ細かな対応はできません。地域の力がどうしても必要です。

幸いにして牛久市の行政区・自治会の活動は活発です。しかし、行政区単位の活動では力が弱い。地域の力をさらに強くしたい。そこで生まれたのが地区社協です。

地域の皆が幸せに暮らせる。そんな地区社協に育てていきましょう。

牛久市には岡田小学校を始め8つの小学校があり、概ねその小学校区単位に地区社協が設立されています。



2. 岡田小学校区地区社協の概要

理念: “出会う ふれあい 語り合い 「幸せ」生まれる地域の絆”

1) 目的: 誰もが幸せに暮らすことができるまちづくりを目指して、地区内の住民の主体的な参加と相互協力により、地域福祉の向上を図ることを目的とする。

2) 事業: 目的を達成するため次の事業を行う。

- ①住民同士の交流を深め、支え合い・助け合い活動への理解や参加を推進する事業
- ②支援を必要とする人を支える事業
- ③支え合いのまちづくりを啓発する調査広報活動
- ④その他必要な事業

3) 役員及び監事

- ①会長1名、副会長2名、会計2名、書記2名、部会長各1名の役員及び監事2名を置く。
- ②役員は運営委員の中から互選により選出し、監事は地区社協構成員の中から選出し、運営委員会で承認する。任期は2年とし、再任は妨げない。

4) 運営委員と運営委員会

- ①会議は運営委員によって構成する運営委員会とし、会長が招集する。
- ②運営委員は各行政区毎に実情に応じた人数を選出する。任期は2年とし、再任は妨げない。
- ③運営委員会は年4回開催し、規約、役員、事業計画及び予算、事業報告及び決算、その他必要な事項に関することを協議する。

5) 部会: 次の3部会を置く。運営委員はいずれかの部会に所属する。

- ①住民交流部会、 ②支援活動部会、 ③調査広報部会

6) 事務局: 会長の行政区会館内に置く。

7) 事業計画

- ①住民交流: 各行政区の行事への他行政区からの参加、行政区合同行事の開催等で住民交流を拡充充実すると共に行事を企画運営できるリーダーの養成を図る。
- ②支援活動: 通院や買物などの外出支援の方法、子どもや高齢者等支援を必要とする人の見守り活動の方法などについて検討する。
- ③調査広報: 広報紙を発行し、地区社協及び各行政区の活動を紹介する。
- ④すまいるサポーターを組織化する。
- ⑤行政区内の情報交換に力を入れる。
- ⑥地域交流センターの実現に向けて研究する。

8) 役員、監事の氏名と所属行政区

- 会長: 鈴木 朗 (松ヶ丘)
- 副会長: 江幡洋一 (東岡見) 鶴長文正 (上柏田)
- 会計: 井出文彦 (下根ヶ丘) 提箸明春 (第八岡見)
- 書記: 飯塚幸雄 (中柏田) 坂本義徳 (岡見)
- 支援活動部会長: 小原健治 (栄町)
- 住民交流部会長: 尾上容子 (上太田)
- 調査広報部会長: 宮崎敏明 (栄町)
- 監事: 寺田博司 (下柏田) 栗山茂信 (上池台)



9) 各行政区及び学校選出の運営委員 (平成25年3月2日現在 62名)

- ① 栄町 (12名): 小原健治、竹川政司、井寺清人、大塚のり子、深水時継、西條勲夫、大谷紀一郎、宮崎敏明、大坂昇治、耕野文子、浅野秀子、中山安代
- ② 下根ヶ丘 (6名): 井出文彦、鳥羽進、大広光夫、窪田 勝、大内勝雄、目次光子
- ③ 東下根 (3名): 石塚 章、久保田国明、花島常雄
- ④ 東岡見 (6名): 江幡洋一、三村武教、壹添洋子、保坂あや子、湯浅健治、郡司忠男
- ⑤ 上柏田 (8名): 鶴長文正、日野功史、草間章、井原資和、日野原かつよ、伊藤光美、市村清二、阿部幸子
- ⑥ 中柏田 (5名): 飯塚幸雄、宮澤 靖、中川佳子、北島義咲、東郷美智子
- ⑦ 下柏田 (3名): 寺田博司、菊地 清、藤田セイ子
- ⑧ 松ヶ丘 (7名): 鈴木 朗、下山貞夫、森 孝雄、片岡キヨ子、工藤睦乃、小島晴美、鈴木典子
- ⑨ 上太田 (4名): 寺田重男、倉嶋清貴、沼田 実、尾上容子
- ⑩ 岡見 (4名): 坂本義徳、橋本 実、坂本 有、橋本芳美
- ⑪ 第八岡見 (3名): 提著明晴、斉藤輝夫、藤塚忠勝
- ⑫ 上池台 (5名): 杉本 保、栗山茂信、町田昇、小林正則、安藤知恵
- ⑬ 岡田小学校 (1名) : 泉 恵之 (学校長)
- ⑭ 牛久第一中学校 (1名): 染谷郁夫 (学校長)

☆岡田小学校区の地域の皆さんにお願いします☆

できたばかりの地区社協です。地区社協が「幸せ」を生み出す地域の絆になれるよう役員・運営委員一同頑張りますが、地域の皆さまのご協力が欠かせません。行政区内の諸行事に、行政区をまたがる諸行事に、積極的なご協力をお願いいたします。



同じ牛久に住む「縁」を確認し、人生を充実させましょう

岡田小地区社協発足に当たって

岡田小地区社協会長 鈴木 朗



誰もが幸せに暮らすことが出来るまちづくりを目指し、住民の主体的な参加と相互協力により、地域福祉の向上を図ることを目的として、岡田小学校区地区社会福祉協議会(略称=岡田小地区社協)が3月2日に発足しました。

岡田小地区社協は岡田小学校区にある12の行政区の居住者で構成され、牛久市社会福祉協議会と日常的な相互支援関係に立ち、協働して事業を遂行していきます。

遠くの親戚より近くの他人

いままぜ地区社協が必要なのか。少子超高齢化・核家族化の急速な進行で、一人暮らしや日中独居の高齢者など、周囲の援護を必要とする人が非常に多くなっています。このような人はこれまでのように、行政と民生委員だけでは見守り切れません。

例えば、近所の一人暮らしの高齢者が病気になったことに気づいた場合、民生委員や区長に「一人暮らしの〇〇さんが病気で寝込んだから、何とかしてあげた方がいいのでは・・・」と告げるところまでは、どうしても住民の協力が必要です。

それを聞いた民生委員や区長は、市の社会福祉課や包括支援センターなどと相談し、救急車で病院に連れて行くとか、親戚に電話するとか、介護保険の適用に道を開いてあげるとか、とにかく必要と思われる対応をとる。ここからは行政の出番です。

昔から言われている「遠くの親戚より近くの他人」という考え方が、改めて必要になっているのです。

見守り体制づくりは住民の役割です。

これまで民生委員は守秘義務があって、援護を要する人の個人情報を知り漏らすわけにはいかなかったため、住民は、1人1人の要援護者がどんな状況に置かれているか、知る機会があまりありませんでした。

しかし今、牛久市は災害発生時だけでなく平常時にも適用できる要援護者台帳を整備して、要援護者を見守ってくれる意思のある行政区役員やボランティアの人には、要援護者について必要最小限の個人情報を提供してもいいことになっています。住民が日常的に要援護者を見守る体制をつくる基盤はできています。この基盤を生かして見守り体制をどうつくるか。これは住民の側の課題です。

こういう役割は、行政区や地域ボランティアが担うのが一番有効だと思いますが、その地域ボランティアに行政区の枠を越えた連携の場を提供し、みんなで意見交換を行って問題意識ややり方を共有し、それを自分の地域に持ち帰って、より実効性の高い見守り体制を築く。地区社協は、そういう活動を生み出す場として、大きな力を発揮すると思います。

また、買い物支援などのように、行政区だけでは難しいが、小学校区の行政区が一緒になれば可能になるような課題もいろいろあります。

市民の活発な動き——それは牛久の文化です。

地区社協は見守りのような「守り」の活動だけでなく、自分たちの幸せを前向きにつくっていく場としても、大きな可能性を持っていると思います。

私は、牛久市はとても生き生きとした、自分の新しいふるさととして誇れる「まち」だと思っています。それは、牛久市民がまちづくりのあらゆる領域で、非常に活発に動いているからです。これは、かっぱやシャトーや大仏以上に強力な、牛久市民の文化でありライフスタイルです。

地区社協が出来たことで、牛久市民は福祉の領域でもこれまで以上に活発に動くことが出来る基盤を獲得しました。

岡田小地区社協は、全国のいろいろな所から引っ越してきた人も、昔から牛久に住んでいる人も、地域ボランティアも、援護を必要とする人も、みんなが、出会い、ふれあい、語り合う場です。助け助けられる者同士、同じ牛久に住む者としての「縁」を確認しつつ、地域に自分の居場所を確保して人生を充実させましょう。

参考資料

牛久市小学校区別人口動態

[平成24年9月1日]

小学校区	人口 (人)	世帯数 (戸)	高齢化率 (%)	年少人口率 (%)
牛久	10,778	4,358	26.6	10.9
岡田	12,887	5,195	23.2	12.1
奥野	5,424	2,118	30.2	9.4
牛久第二	8,990	3,827	26.0	11.7
中根	13,760	5,470	14.2	19.1
向台	14,075	5,738	24.6	11.1
神谷	11,198	4,293	21.3	12.1
ひたち野うしく	6,048	2,345	5.8	27.0
合計	83,160	33,344	21.6	13.8

注) 高齢化率: 65歳以上の人口の割合

年少人口率: 15歳未満の人口の割合

岡田小学校区行政区別人口動態

[平成24年9月1日]

行政区名	人口 (人)	世帯数 (戸)	高齢化率 (%)	年少人口率 (%)
栄町	5,195	2,182	20.9	12.6
下根ヶ丘	711	266	25.0	12.7
東下根	309	105	26.5	11.3
東岡見	467	175	28.9	8.4
上柏田	1,819	704	12.0	18.2
中柏田	453	182	25.6	12.6
下柏田	245	91	32.2	8.2
松ヶ丘	1,110	454	26.6	11.8
上太田	194	72	32.5	9.3
岡見	838	325	30.8	7.4
第八岡見	607	243	26.7	8.6
上池台	939	396	33.2	8.2
合計	12,887	5,195	23.2	12.1